

# 令和6年度 事業計画

## I はじめに

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、地域の特色や実情を踏まえて積極的な取組を強化していく必要があります。

シルバー人材センターにおいて会員拡大を最重要課題として取り組んできたところであるが、定年延長や継続雇用により、会員数が減少し、現在も下げ止まっていない状況であります。このため、令和6年度においては、この流れを反転させ、会員数の持続的な拡大に向けて取り組む必要があります。

このようなことから、会員拡大には一層厳しい状況ではありますが、中でも女性会員拡大と活躍を進めていくことは大変重要です。このため「自主・自立・共働・共助」という共通理念のもと、地域社会に貢献し、その期待に応えるためにも会員、役員、職員が一丸となって会員確保に取り組んでいかなければなりません。

また、会員の高齢化、重篤事故の発生状況を踏まえ、安全就業の徹底に向けた取組を強化するとともに、健康確保等についても適切な対応を図ってまいります。

さらに、令和6年秋に施行が予定されている「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（以下「フリーランス新法」という。）に適切に対応するためのシルバー事業における新たな契約方法への円滑な移行を進めてまいります。

今後とも長年培ってきた知識・経験・能力を生かし活躍いただいております会員の皆様のご協力を得て、積極的な事業展開に努め、高齢者にとって魅力ある、地域にとって存在感のあるセンターを目指します。

## II 基本目標

- 1 会員の拡大
- 2 就業機会の確保・拡大
- 3 安全就業の推進
- 4 適正就業の実施

- 5 ボランティア活動の充実による社会参加の一層の推進
- 6 組織及び財政基盤の強化
- 7 事業推進計画の策定

### Ⅲ 事業実施計画

#### 1 会員の拡大

会員数を320人に

継続的に事業の運営が円滑に行えるよう、次の事業を行い会員の拡大を進めます。なお、目標設定については、全国シルバー人材センター協議会が進める会員100万人計画に沿い、設定したものです。

- ① 会員の口コミによる入会促進「一人一会員入会」  
新規入会者紹介謝礼制度の導入
- ② 啓発用パンフレットによるPR、広報誌による入会促進
- ③ 個別職種（植木剪定、草刈等）の入会説明会の開催
- ④ 女性会員の拡大
- ⑤ 会員休会制度の導入

#### 2 就業機会の確保・拡大

##### (1) 受託事業の目標

受注件数	3,000件
受託事業収入	1億7,600万円
就業延人員	25,000人

地域や事業所等の就業ニーズを的確に把握し、受託事業の向上を進めます。また、市民の要望に応える新たな事業を行い、会員の就業機会を増やします。さらに、地方公共団体や関係機関と連携し、就業機会の拡大を図ります。

##### (2) 労働者派遣事業

派遣先件数	10件
契約金額	1,000万円
就業延人員	1,500人

企業などからの派遣依頼はありますが、その要望に応える会員の確保が難しくなっています。会員の拡大とともに、企業などの契約内容を協議検討し、会員の就業の増に努めます。

### (3) 就業機会の拡大

多くの会員に就業機会を提供するため、ワークシェアリングやローテーション就業を推進します。

### (4) 就業マッチング講習の実施

植木・障子、襖等の技術向上と人手不足分野の後継者育成を目的とした講習会を実施します。

## 3 安全就業の推進

### (1) 事故ゼロを目指して

「安全は、すべてに優先する」を徹底するため、作業前の安全点検を行う等、事故の未然防止に取り組みます。安全パトロールを定期的を実施するとともに、安全・適正就業委員会により発生した事故の再発防止策等を検討、実行することにより「事故ゼロ」を目指します。

### (2) 健康管理の徹底

就業に当たっての会員の健康管理が重要なことから、健康診断の受診を推奨します。高温になる時期の作業については、体調管理に十分に気をつけ、水分・休憩を取るなど熱中症対策を実施します。

### (3) 就業規則の徹底

剪定、草刈等の就業に際しては、必ずヘルメットを着用し、防護ネットの使用や梯子の固定、安全帯の着用など定められた安全作業に努めます。

## 4 適正就業の実施

### (1) 適正就業ガイドラインの遵守

会員には、「臨時・短期・軽易」の働き方に理解を求めるとともに、発注者には適正就業ガイドラインの周知を更に進め、「請負・委任」「派遣」の契約内容を精査し、法令遵守のうえで多様な就業ニーズに対応できるように努めます。

### (2) 発注者との信頼関係の構築

就業に際し、発注者に内容の確認を確実にを行うことにより、発注者との信頼関係を構築し受注の確保に努めます。

## 5 ボランティア活動による社会参加

10月の「シルバーの日」に合わせ地域に密着した社会参加のボランティア活動を実施し、シルバー事業のPRに努めます。

## 6 組織及び財政基盤の強化

### (1) 補助金の確保

国にシルバー人材センターへの補助金の維持・拡充を要請するとともに、笠間市に対し引き続き積極的な支援を要請します。

### (2) 会員の積極的な事業参加

会員一人ひとりが総会、ボランティア活動、技能講習会その他の事業のいずれか1つ以上の出席・参加を目標とします。

## 7 事業推進計画の策定

会員の拡大、就業機会の確保・拡大、安全就業の推進、適正就業の実施ボランティア活動による社会参加、組織及び財政基盤の強化等の中長期計画（5年程度）を策定する。